

シートベルト 全席着用の徹底

全ての道路で
義務化



後部座席でシートベルトを着用せずに交通事故に遭ってしまうと…

車外放出の危険

衝突の勢いが激しい場合、後席から車外に放出される可能性があります。車外に放出されると、

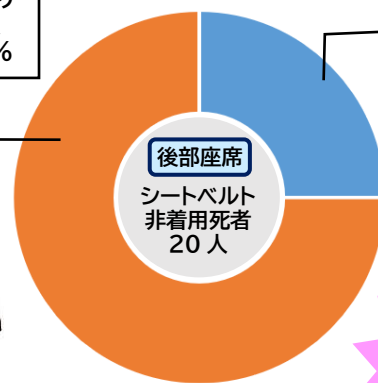
- ・道路にたたきつけられる
- ・後続車にひかれる
- ・横転もしくは転覆した自車と路面の間に挟まれる

場合があり、最悪の場合は命を落としてしまう恐れがあります。

後部座席シートベルト非着用死者に関する
効果の有無【H31.-R.5】

効果有り
15人
75.0%

効果なし
5人
25.0%



後部座席も
シートベルトを！

【注】効果有りは着用していれば
助かったと思われる人

前席の同乗者に致命傷

衝突の勢いで後席の人が前方に投げ出されると、身体が凶器になって同乗者(特に前席)の命を奪うこともあります。

(イラスト:政府広報オンライン)

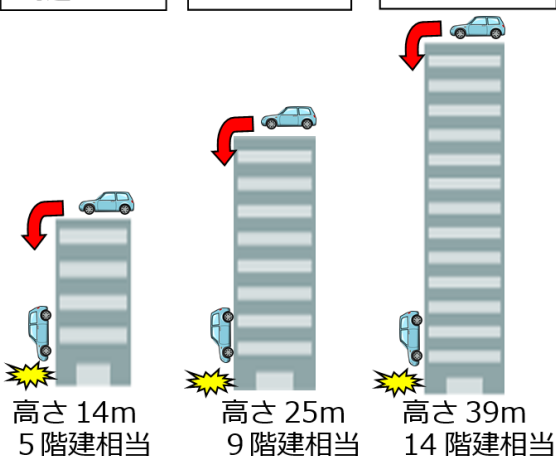


事故の衝撃は 思いのほか大きい

時速 60km

時速 80km

時速 100km



速度によって、上図のビルの高さから落下したと同じ程度の衝撃を受けます。また、正面衝突した場合、体重の 30 倍の力で前に飛び出します。

シートベルト・ チャイルドシートの着用率

チャイルドシート
着用率 (6 歳未満)
94.3%

一般道であっても、
後部座席の同乗者には、
シートベルト着用の義務
があります！

運転席
着用率
99.2%

後部座席 同乗者
着用率 46.5%

助手席同乗者
着用率 96.8%



※シートベルトの着用率及びチャイルドシートの着用率は、2023 年に警察庁・JAF が県内の一般道路で調査した結果です。



問合せ:愛知県防災安全局県民安全課 電話:052-954-6177(ダイヤルイン)